



Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区
ガバナー——久保田 昭 治
会 長——五十嵐 総 一
会長エレクト——細 井 増 雄
副 会 長——長谷川 有 美
幹 事——佐 野 勝 栄
副 幹 事——西 山 徳 厚
S A A——山 浦 日出夫
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 54名
先々週出席率	84.0%

会 長 挨 拶

五十嵐総一会長

ヴィジター

三条南より 佐藤嘉男さん

三条北より 中條耕二さん

先週のメイクアップ

4/27

三条南へ 樺山 仁さん

4/28 三条北へ

高橋一夫さん、橋 直樹さん

4/28 田上あじさいへ

松谷昊吉さん、渡辺勝利さん



みなさんこんにちは。

本日のお客様をご紹介させていただきます。三条南クラブから佐藤さん、北クラブから中條さんようこそおいで頂きました。ありがとうございます。

ゴールデンウィークも終わりました。私はこの休みの使い方が非常に下手で、まだまだ子供がいますのでゴールデンウィークが終わるとほっとするんです。皆さんはいかがお過ごしだったでしょうか。だいぶ疲れた方もいらっしゃると思います。

今日はだいぶ暑いようでございますけど、私は壇上に上がると一段と暑くなります。もう5月に入りました。いよいよ残すところあと1カ月ちょっとになります。家庭会合のご案内が皆さんの所に届いたと思います。それがくるとホッとするような、最後の締め括りということで緊張する時でもございます。

報告を致します。私が4月19日に直江津RCの40周年記念式典に参加した時に、久保田ガバナーが入院されたことをお聞きしました。早速、気持ちだけの花をお見舞いさせて頂きました。話によりますと、退院されました5月いっぱい自宅療養されているとのこと。いろいろの行事が重なって、体調を壊されたのではなかなと心配しております。また、今日お見えになったと思っていたんですけど、会員の齊藤隆さんが車の追突事故で、それも二重、三重という大きな事故だったらしいです。かなりの鞭打ち症で入院されていましたが退院されて、今は通院されているそうなんです。しびれがとでもひどくて仕事が手に付かないということで、お見舞いをさせて頂きました。皆さん、くれぐれも気を付けて頂きたい

と思います。

先般、社会奉仕の一環として、桜の家ライフステーション テントハウス各々の所を訪問させて頂きました。皆さんご存じのように身体障害者の方々の施設です。建物も非常に痛んでおり新聞にも出ておった現状でございます。ニコニコBOXを利用して、施設運営の工事とかに役立てて貰えます。桜の家の表玄関の修理に使用させて頂くということで報告させて頂きます。

また、渡辺弘栄会員が今日もって転勤されるそうです。代わりの方が6月から入会される予定です。また後程ご挨拶があるかと思っております。

そして、皆さん来週は職場例会ということで、職業奉仕委員長の斎藤弘文会員から設営させて頂きました。新潟井関さんの職場例会です。今日はだいぶご出席がいいようです。ありがとうございます。月誌にも出ていると思いますが三条ロータリークラブの出席率はここ2月、3月と90%を割っています。どうか最後の締め括りになります。出席率の向上を期待しております。第1例会です。いろいろの行事が重なります。挨拶はこのへんで終わらせて頂きます。ありがとうございました。

幹事報告

佐野勝栄幹事

◎明るい町づくり推進委員会より

平成10年度総会の開催についてご案内がとどいております。

とき 5月14日(木)

AM10:30~

ところ 東北電力(株)三条営業所

◎例会変更のお知らせ!

三条南RC——

5月11日(月)夜例会PM6:00~

5月25日(月)創立30周年クラブ内
祝賀会PM6:30~

燕RC——

5月21日(木)夜の例会

加茂RC——

5月14日(木)夜の例会

PM6:30~

田上あじさいRC——

5月14日(木)夜の例会

吉田RC——

5月15日(金)夜例会

ニコニコBOX



五十嵐総一さん

当クラブのゴルフコンペに欠席、すみません!!

渡辺さん、転勤との事、色々とお世話になりました。

佐野勝栄さん

ゴルフ同好会のコンペに参加できず、すみませんでした。

渡辺弘栄さん

転勤することになりました。大変お世話になり厚くお礼申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨日の同好会コンペで優勝でき、また初の39が出るで二重、三重の喜びの日でした。大変ありがとうございました。

上木六治さん

渡辺会員ご栄転おめでとございます。大変お世話様になりました。特に40周年行事の節多くのアドバイス頂きお礼申し上げます。

古沢富雄さん

昨日のロータリーゴルフで楽しい一日をすごす事ができました。渡辺さん優勝おめでとございました。

加藤紋次郎さん

ゴルフ同好会第17回のコンペ及び総会が無事終了しました。珍しい事づくしで14名中6名がアンダーパープレー馬券が1-1のゾロ目、古沢さんがNo.15でスロープにボールが登って更にパープレー、他にも楽しい事沢山……週報で。

中村和彦さん

昨日ロータリークラブの楽しいコンペに参加させて頂きました。天気にもめぐまれ、よい一日でした。

追伸 松谷さんの卓話楽しみにしています。

丸山行彦さん

昨日の当クラブのゴルフ大会は皆様のおかげで楽しいゴルフでした。ありがとうございました。

松谷昊吉さん

卓話させて頂けます。

川又嘉瑞範さん

松谷さん卓話御苦勞様です。

荻根沢隆雄さん

連休は何処へも行かなかったの、松

谷さんの卓話にご期待申し上げます。

渋谷正一さん

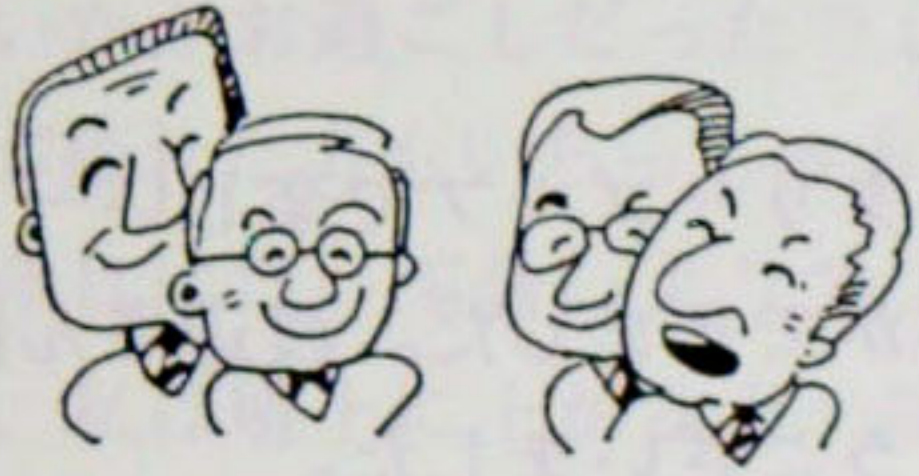
さわやかな5月が私の誕生月です。仕事もさわやかな気持で出来れば。

小越憲泰さん

早退します。

5月6日分 ￥20,000

今年度累計 ￥784,000



退会のご挨拶

渡辺弘栄会員



このたび5月1日付社命により新潟へ転勤する（と言うより新潟に戻る）ことになりました。

三条の地で4年7ヶ月勤務、そして名門三条ロータリークラブに入会させて頂いて約3年でしたが真に充実した期間でありました。それはこれまでの間、心豊かなすばらしいロータリアンの皆様とめぐり会い、公私に亘るご厚情とご指導を賜ったからだと思っております。深

く感謝申し上げます。

三条から離れることが実に寂しい心境です。（何度も転勤しましたが、こんな気持になるのは初めてです）

「小さな不自由、大きな自由」の単身生活から、また束縛された生活に戻りますが、皆様から頂いた温かい心、数々の教訓をしっかりと抱き、これからの人生に生かして行こうと思っております。

最後に今大変厳しい経済環境ではありますが、皆様のご健康と事業の益々のご繁栄、併せて三条ロータリークラブの一層のご発展をご祈念申し上げ、退会のご挨拶とさせていただきます。本当にお世話になり、ありがとうございました。

卓話

松谷昊吉会員



本日は環境保全についてお話させていただきますが、せっかく与えられた時間ですので少し真面目に調べて原稿を作ろうと始めた所、出てくるは、出てくるは、とても30分位では足りない程色々な問題があります。

それを何とかはしょって短くしました

が、お陰様で私にとって勉強にはなりました。しかし先日のこと、ある程度まとめた所でとりあえず家内を相手に聞いてもらおうと始めたのですが10分もたたない内に居眠りをするんですよ。私は真剣なののがっかりしました。本日はそんな女房も起こしておけない程の内容ですのでご容赦下さい。

私の誕生日は5月ですがこの季節になると水も温んで、子供の頃には毎日田んぼの用水に入って魚やドジョウ、ザリガニ、ヤゴ等々捕って遊んでいました。泥の中に入れた足の指の間から、歩く度にゆるにゆるとくすぐったいような、それでいて小気味のいい泥の動きの感触は汚いと言う気持ちもありませんでしたし、引き抜いた足にヒルが吸い付いていて、ひっぺがして血が出ても別にほったらかしておいてもどうと言う事も無く、泥その物も臭くない生きている泥だったので

先日、市内一斉の側溝の泥上げが行われました。私も子供達がいなかったものですから家内と二人で13袋あげました。よくもこんなに溜まるものだと思いますし、鼻も曲りそうな臭いに閉口したのは皆さんも同じだと思います。しかし、このヘドロは誰が出した訳ではなく、私達1人1人の出した生活排水の沈殿物が主なんです。それが腐敗し、臭いがする訳です。

私共の会社の周りでは螢はもちろん、ドジョウや小魚も上ってこなくなりました。それだけ水が汚れていると言う事です。しかし、その原因は私達です。私達は被害者ではなく加害者なので

す。私達が気持ち良く生きていきたいと思っているなら、まず自身が環境を守るべき意識と実践をしていかなければなりません。

環境問題はいろんな切口があり、それが複雑にからみ合っています。それにしても環境問題と社会の発展とは相容れない部分があります。資本主義が発展していくためには常にもっともっと、と言う勢いでどんどん物を作らなければなりません。しかし、物を作ればすぐに需要は飽和してしまいますから、どんどん作る一方でどんどん捨てさせなくてはなりません。そうでなければ消費は伸びません。ですからまだ十分使える商品でも、それは時代遅れなのだからと言って捨てさせる、あるいはもう充分物を持っている人々に対して宣伝を行って、更に余計な物を買わせる。つまり浪費、消費のすすめをする事が資本主義の本質と言っていい訳です。こういう状況が続く限りは地球環境の問題やエネルギー、食料問題を解決する事はとても難しいと思います。

現在不景気の真最中です。物は売れないと言っても不便が起きている訳ではありません。それだけ私達の生活の中は、十二分に便利で住み易い状態にあります。具合が悪くなるほど食べ過ぎ、飲み過ぎてキャベジンや「いい薬です太田胃散」のお世話になっています。一年や二年買わなくても良い程、タンスの中では衣料品であふれていませんか。メーカーによって作られた流行に踊らされている私達はこれでいいのでしょうか。考えてしまいます。今不景気で困ったと皆さん悩んでいる所ですが、もちろん私共もあえいで

おりますが環境的に見れば経済が停滞している分、環境にはやさしくなっていると言う事になります。こういう事を一つ見ても環境問題と経済的発展とは矛盾しているのです。

さて、まず水についてですが、水の惑星といわれる地球にはどうやって計算されたものか知りませんが、およそ一兆トンの14万倍の水があります。その内97%が海水で残り3%が淡水です。その3%の内の75%は南極北極の氷山に占められており、生命の源となり暮らしを潤す河川の水、地下水、湧き水それらは全体の1%もありません。人は1日当たり2.5ℓ～3ℓの水を必要としています。どの様に摂取しているかを見ますと、飲料水が45%食品中の水分で45%、残りの10%は栄養素が体の中で分解されてできる代謝水と呼ばれるものです。それにしても水は人の体重の%を占めていますので、水無しでは10日も生きていられないと言われてます。人生が70～80年としますと、生涯で一人の人が飲む水の量は70～80トンにも達する訳ですから、質の良い水をどうしても守らなければなりません。水質汚染が日々のニュースになっている今、水に対して関心を持たなければなりません。かと言って、科学者が実験の時や洗浄用として使われる純水とは、一切の不純物を含まない文字通りの純粋な水の事です。この純水は有害な物質も無く、いかにも健康に良いように思われるかも知れませんが、実は味もそっけも無く飲料水としてはとても勧められるものではありません。

厚生省が組織しています美しい水研究

会の研究結果によりますと、三つの条件があります。まずミネラルを含んでいる事。ミネラルとは鉱物質の総量で水1ℓに100mgの含有量が最もまろやかな味であると言われてます。

次に硬度です。硬度とはカルシウムとマグネシウムの合計量で、適量は水1ℓに50mg前後、そして水に新鮮で爽やかな味を与える二酸化炭素が十分に溶け込んでいると言うこと。さらに付け加えるとすると、温度が15度前後が一番おいしいと言われてます。

昭和40年代から60年代にかけて日本経済は高度成長期にありました。都市化が進む中、一方で水質汚染が激化して来ました。そんな中で環境庁は全国の水環境水資源を見直し保全するために、昭和60年名水百選を選定しました。全国の県市町村から、784件の推奨を受け選定された各地の湧き水、河川は水の大切さを問いたすために大いに意義がありました。美しい水の流れる所には豊かな暮らしがあります。水のせせらぎの音は不思議にリラックスした気分させます。

最近サブプリミナル効果をうたったテープ・CDがよく売れていますが、その中には必ずと言って良いほど水の音が入っています。水の音にはそよ風や心臓の鼓動ツーソー音と同じ様な、精神をゆったりさせる「ゆらぎ」と言う法則があるからです。美しい水は心も豊にいたします。ご承知の通り水は循環しています。海から蒸発した水蒸気は、雨や雪となり地上に降り、又海に戻る訳ですがストレートに流れになるものもあれば、地面や樹木に吸収され少しずつ地下水となり、湧き

水になり地表に表れるものもあります。水質の良い水はあらゆる動植物の生命の源です。一つの例として良質の川の水は、その豊富な栄養を基に海に入った時に多量のプランクトンを発生繁殖させ、海の魚を増やす大きな働きをしています。

現実に秋田県のある海岸の漁協では、地元の川の上流域にブナの木を植林をして水質保全に努めています。海の魚のために山に木を植えているのです。

と言う事で水の問題から森林問題に持って行こうとしている訳ですが、森林に関しては以前にも関根さんに卓話していただきましたが、新しい情報を加えておさらいをしたいと思います。

世界の森林面積は総陸地面積の $\frac{1}{3}$ に相当します41億ヘクタールで、その内木が密生している森林地帯は27億ヘクタールにすぎません。そんな中で現在の森林は、1分間に約20ヘクタールが消滅していると言われてます。このままの速度で行けば、計算上300～400年で地球上の森林は存在しなくなります。とりわけ熱帯地帯の森林は毎年日本の面積の半分、1700万ヘクタールが消滅していますが、その主な原因は商業伐採と林地開発、焼畑等です。森林は私達の生活に深い関わりを持っている事は、皆さん十分御承知の通りです。その公益的機能としては、まず酸素の供給です。1ヘクタールの森林は44人分の酸素を出しています。次に二酸化炭素を吸収し、幹や根などに炭素として貯蔵します。一度固定した炭素は、木を燃やしたり腐らせたりしない限り貯蔵し続ける「CO₂の缶詰」です。日本の森林が吸収するCO₂は年に2700万トン、95

年の貯蔵量はおよそ14億トンになるといわれます。直径20cmほどの樫の木1本で、2000ccの車が24時間に排出するCO₂を吸収します。針葉樹と広葉樹では違いはありますが1ヘクタールの保水力はドラム缶1万本の能力があり、洪水を防ぐ自然のダムになっています。

又、木が自分を守るために出す微量の揮発成分フィトンチッドと呼ばれますが、森林浴として私達の健康を守ると共に心理的ストレスも取ってくれます。その他にも土砂の流出防止等々、いろいろあります。森林のもつ多様な機能の評価額は約40兆円とも試算されています。私達は有形無形に多くの恩恵を受けているのです。1億2千万の人口を抱える、この小さな島国の67%が森に覆われています。これほど森林面積が維持されているのはめずらしい例です。

我々の先祖がいつ頃から森と親密な関係を持ったかは最近分かってきまして、2～3万年前の旧石器時代に溯ると言われます。石器時代と言えば、草原に群れる馬や野牛を追いかけけているというイメージですが、日本列島では違ったようで、非常に深い森が多く、森の旧石器文化だったのです。縄文期に入ると温帯の落葉照葉樹林にぴったり適用した森の文化を形成します。季節の循環に歩調を合わせながら、狩猟採取生活をします。遺跡の調査でそれがわかっています。

弥生時代には、当初吉野ヶ里遺跡等に見られるように家畜を持っていたのですが、面白いことに家畜を放棄して魚と米を食べる農業を形成します。

旧石器時代、縄文以来の森の文化を引

を含め300人規模で行われました。これは新大酸性雪研究会代表加藤教授の呼び掛けで開催されたものです。

酸性雪は、春に溶け出す時に影響が集中し、植物の芽を傷めるなど酸性雨より深刻になる可能性が指摘されており、会議ではその特性、分析方法、モニタリングデータ解析、生態系への影響対策技術、行政手段、防御手段など八つの分科会で討論されました。酸性の強さであるpH値は、中性が7で5.6以下が酸性雨とされます。

日本の95年の全国平均は欧米並の4.8でした。しかし、日本の場合土壌のアルカリ度が高いため、今の所欧米ほどひどい被害は表面化していませんが、この先楽観は出来ません。当初欧州で始まった被害は、現在東アジア地域でも出て来ています。動植物はじめ建物や、先日これもテレビで流しておりましたが、上野の美術館のロタンやその他の野外のブロンズ像もかなり腐蝕されています。

新潟市には環境庁が2000年度に本格稼働を目指す、東アジア酸性雨モニタリングネットワークセンターの設置が決まっております。研究の拠点になりそうです。

続いてオゾン層の問題です。地球に水が出来、水中に光合成出来るものが生まれ、水中より酸素を大気中に放出し、その酸素が変化しオゾンが出来、そして層を作りオゾン層として有害な紫外線をさえぎるようになって、初めて地上に動物が現れ生存出来るようになりました。

その動物である人間が今、動物が生きて行く上で無くてはならないオゾン層を壊しています。南極に近いオーストラリ

アやニュージーランドでは、放牧されている羊に紫外線の影響と見られる皮膚ガンが発生して大きな問題になっています。

しかし、これは他人事ではなく日本上空のオゾン量も昨年に引続き減少しています。先月気象庁のオゾン層観測報告でわかりました。オゾン量が1%減少すると、地上に到達する有害な紫外線の量は1.5%増します。規制はされていますがフロン等によるものと分析しています。97年の国内各地上空のオゾン量は札幌が平年の94.4%、茨城つくばが96.4%、鹿児島と那覇が99.6%でした。札幌とつくばでは、昨年3~5月にオゾンの減少が目立ちましたが、同じ頃に北極圏でも極端に減っており、オゾンの薄くなった空気が流れ込んだ可能性があるかと分析されています。又最近20年間の観測データを解析した結果では、那覇を除く札幌、つくば、鹿児島の三地点で長期的な減少傾向が見られ、特に札幌では10年間につき3.3%の割合でオゾンが減少しています。

その分有害な紫外線は増えている訳です。すでに色々影響が広がり増えています。いつ私達に直接的な形で出てくるかわからないおそろしい状況です。

さて次は、最近特に目に耳にするようになって来ました環境ホルモン(内分泌攪乱化学物質)です。生体内に入るとホルモンの正常な作用を阻害し、生体の生殖能力を奪う化学物質として、アメリカのシーアコルボーン氏が「奪われた未来」と言う本の中で書かれ話題になっていますし、最近では集英社で発売された「メス化する自然」副題として「環境ホルモン汚染の恐怖」、これはイギリスのBBC

の科学番組のプロデューサー・デボラやドバリーと言う人が書いた本に具体例を含め、詳しく書かれておりますので一読されたらいかがでしょう。

サード・ワールド・リサーチ・ジェンズと言う科学誌では、2月3日号で化学物質の中でも特に塩素系化合物の全廃を訴える記事を掲載しています。合成化学物質の生産は過去半世紀に急に増し、現在アメリカで商業的に使われている化学物質は約7万種に上ります。問題はそれらの多くが人体や環境への安全性を確認されなまま使用されている事であるとしています。

これまでに安全性の確認がされたのは7万種の中の2割に満たないといえます。しかも確認された内容は、個別の物質の発ガン性が低いかが主で、複数の物質を同時に摂取した場合の影響や神経系統や免疫機能への影響、生殖能力への影響などは調べられて来ていません。しかし最近では各種調査により、一部の農薬やプラスチック添加剤、PCBダイオキシンなど70種類程が指摘され、その内の多くが塩素系化合物です。これらが体内に入るとホルモンまがいの働きをして、内分泌系をかき乱します。又、胎児の成育に関係します。環境ホルモンの恐ろしさは、ごくわずかな量で決定的な影響を与え得る点にあります。

若い男性を対象にした調査結果で、20年前に比べて精子の数が半分程度に減っている報告があります。さらに不妊症外来を訪れる男性の約20%は無精子症など、環境ホルモンが何らかの形でかかわっているとされています。

しかし、まだ不明な点は多いにしても、私達があまりに安易に化学物質を使い過ぎている事は確かであり、これからの調査研究が必要です。

それでは最後に地球温暖化についてですが、皆さん御承知の通り昨年12月に地球温暖化防止京都会議が開かれました。大筋で2010年迄の目標が出されましたが、現在の調子で化石燃料を使い続ければ将来の世代に禍根を残す事は確実であり、今から出来る丈の事を実行する必要があります。

しかし、世界の二酸化炭素の排出量は炭素換算で年71億トンに達します。実現するには企業の経営姿勢の変化と同時に、個人のライフスタイルの変化も必要になります。日本では企業の環境意識が大幅に向上しつつあります。石油連盟が業界全体のエネルギー消費を、2010年迄に90年レベルからさらに10%削減する行動計画を発表するなど、自主的目標を設定する業界が増えています。経団連でも製造業全体のCO₂排出量を90年レベルまで削減するという目標を公表しています。しかし、もっとも困難を伴うのがライフスタイルの変更です。私達は一度膨らんでしまった生活を元に戻す事を簡単にするでしょうか。

いずれにしても企業、技術者、生活者がそれぞれの立場で最善を尽くして、これを社会制度がバックアップして初めて環境保全が可能と言えます。

南極の氷に閉じ込められた昔の大気の実験を基に、1000年間のCO₂濃度が推測されています。産業革命の時期濃度はほぼ一定であったものが、革命以後急速に

上昇しています。18世紀の280ppmから1994年には358ppmに上昇しています。二酸化炭素は地球を覆う毛布で、これがなければ地球は寒冷過ぎて人間は生存出来なかった訳ですが、現在では過剰になり地球の温度は上昇し、今世紀に入り表面の平均温度は0.3~0.6度上がり、世界平均で10cm~25cm海面が上昇していると言うデータもあります。

京都会議で重要な事は、これまで提案されたどの国の削減案であっても、現実には温暖化ガスの増大は止められないという点です。

ただ、今から100年後の2100年にCO₂濃度を、産業革命以前のほぼ2倍の水準550ppmにとどめることを目標にしています。

この場合、平均気温はさらに2.5度、海面は50cm~1mの上昇を推定されていますが、人類の生存に壊滅的打撃は避けられると考えられています。日本では現在でも満潮時に海面より低い地域は、861平方kmで200万人が生活し、54兆の資産があります。今後海面が50cm上昇すると、海面より低い地域は1412平方km、生活人口は286万人、資産77兆に膨らみ、面積は10倍に広がります。日本の経済の活動はこうした低地に集中しているため、沿岸の安全性を確保するためには、20兆円位かかると言われています。さらに沖之島が失われると日本の経済水域451万平方kmの内、40万平方kmが失われます。これは国土に匹敵する広さです。30cm上昇すると現在の海岸の56%が浸食され、1mの上昇では砂浜はほとんど残りません。

地球温暖化の現われ方には地域差があ

ります。日本などは影響はあっても財政的、技術的に耐え得るかも知れませんが、小さい島国ほどその影響は深刻で対応力も低く、壊滅的になるかも知れません。

それにしても温暖化物質はCO₂だけでなく、CO₂にかくれてあまり知られておりませんが、代替フロン的一种であります半導体の製造過程で使われるパーフルオロカーボンPHCについては、CO₂の6000倍から1万倍の温暖化作用があると言われます。96年のその排出量は2000トンですが、CO₂の1万倍で換算したらどうなりますか。大変な量です。やっと日米欧で削減、回収再利用に取り組む様ですが、まだ私達の知らない物質はあるのかも知れません。

温暖化の最大の流れは、急激な人口増加による資源環境面からの圧力であり、森林の縮小に続き動植物の絶滅が加速、海洋汚染も広がり重要なタンパク源である漁業資源が減少、農業用水も不足し土壌劣化も進み、廃棄物が大きな問題になります。環境の修復、保全には企業の役割は大変大きいものがあります。循環型社会へ移行する原動力は生産、流動を主として担当する企業が率先して担う必要があります。環境破壊を大きな枠組みで考えれば、物質的豊かさをもたらした20世紀そのものが加害者と言えます。企業はもちろんの事、CO₂の排出抑制の必要は認めるが、自分達の便利な生活は手放したくないという、身勝手な我々が加害者である事を自覚する事が出発点です。従来の大量生産、大量消費による経済社会システムを前提とする議論では、もはや解決策を導き出す事は困難です。実現

には規制の見直しや、省エネ対策、CO₂の回収の技術等々、行政による基盤作りも重要には違いありませんが、重複しますが企業と消費者、その双方の価値観の変革なしには全ての計画は絵に描いた餅になってしまいます。

日本に帰化したおなじみの作家でありナチュラルリストのCWニコルさんは、「環境と教育は一体のものです。それなのに日本では教育の中に環境問題が入っていない。人間の行動によって生態系が豊かになる事がハーモニーで、生態系が壊されるのがディスハーモニーで、これは最終的には人間同士のディスハーモニーにつながる。」と言っています。

環境問題はいろんなファクターがあり、その切口によって又様々な問題が起きて来ます。好き嫌い、俺には関係無いなんて他人事で済まされない所に来ています。より快適を求める事から、より安心安全を求める方向に転換していかなければ、私達の地球の将来は無いかも知れません。

ゴルフ同好会春季大会

三条RCゴルフ同好会の第17回ゴルフコンペが5月5日にスプリングスカントリークラブに於いて14名の参加で行なわれました。

暦の上では「立夏」。ウグイスの啼き声が聞こえる爽やかな天気の中で競技は進行しました。

珍しいプレーもありました。競技者が次のホールの移動用に急斜面に設置してあるもので、ベルトコンベアー状のオートスロープがあります。古沢さんの打ったボールは傾斜角30度はあるそのオートスロープを15mも駆け登りました。笑いがあり、また心地よい汗をかいて無事に大会を終えました。夕方VIPで総会ならびに表彰式を行ないました。

筆者を除き皆さんは上々の成績でした。渡辺弘栄さんは、前半ショートホール2バーディ共にニアピンの39、後半47、グロス86ネット62の成績で優勝しました。さながら渡辺さんの送別記念ゴルフ大会の様でした。準優勝は五十嵐寿一さん、3位は丸山さんでした。

今回は7月中旬に日本海カントリークラブの予定です。皆さんの入会・参加をお待ちしております。

三条RCゴルフ同好会会員名簿

H10.5.5 現在

No	氏名	HD	No	氏名	HD	No	氏名	HD	No	氏名	HD
1	五十嵐 普三	21	11	樺山 仁		21	中村和彦	15	31	山田富義	28
2	五十嵐 総一	34	12	熊倉 昌平	29	22	日戸平太	28	32	渡辺勝利	20
3	五十嵐 力	18	13	小出 子恵出	24	23	林 光輝	19	33	渡辺弘栄	15
4	五十嵐 寿一	27	14	斎藤 弘文	14	24	古沢 富雄	30	34		
5	石橋 育於	29	15	佐藤 武	9	25	船越 正夫	40	35		
6	上木 六治	16	16	佐野 勝栄	20	26	藤田 紘一	32	36		
7	小越 憲泰	12	17	杉野 奎司	31	27	細井 増雄	14	37		
8	小柳 直人	30	18	高森 章仁	11	28	松谷 昊吉	13	38		
9	加藤 紋次郎	8	19	高畑 昭	22	29	松縄 弘		39		
10	川又 嘉瑞範	18	20	橋 直樹	30	30	丸山 行彦	18	40		

例会案内

三条RC 5月20日例会 クラブアッセンブリー
5月27日例会 会員卓話

メイクアップをどうぞ

三条南RC 5月18日例会 クラブ・フォーラム
5月25日例会 創立30周年クラブ内祝賀会

三条北RC 5月19日例会 クラブ・フォーラム
5月26日例会 外部卓話

加茂RC 5月21日例会 休会
5月28日例会 クラブ・フォーラム

燕RC 5月21日例会 夜の例会
5月28日例会 クラブ・フォーラム

見附RC 5月21日例会 会員卓話
5月28日例会 夜例会